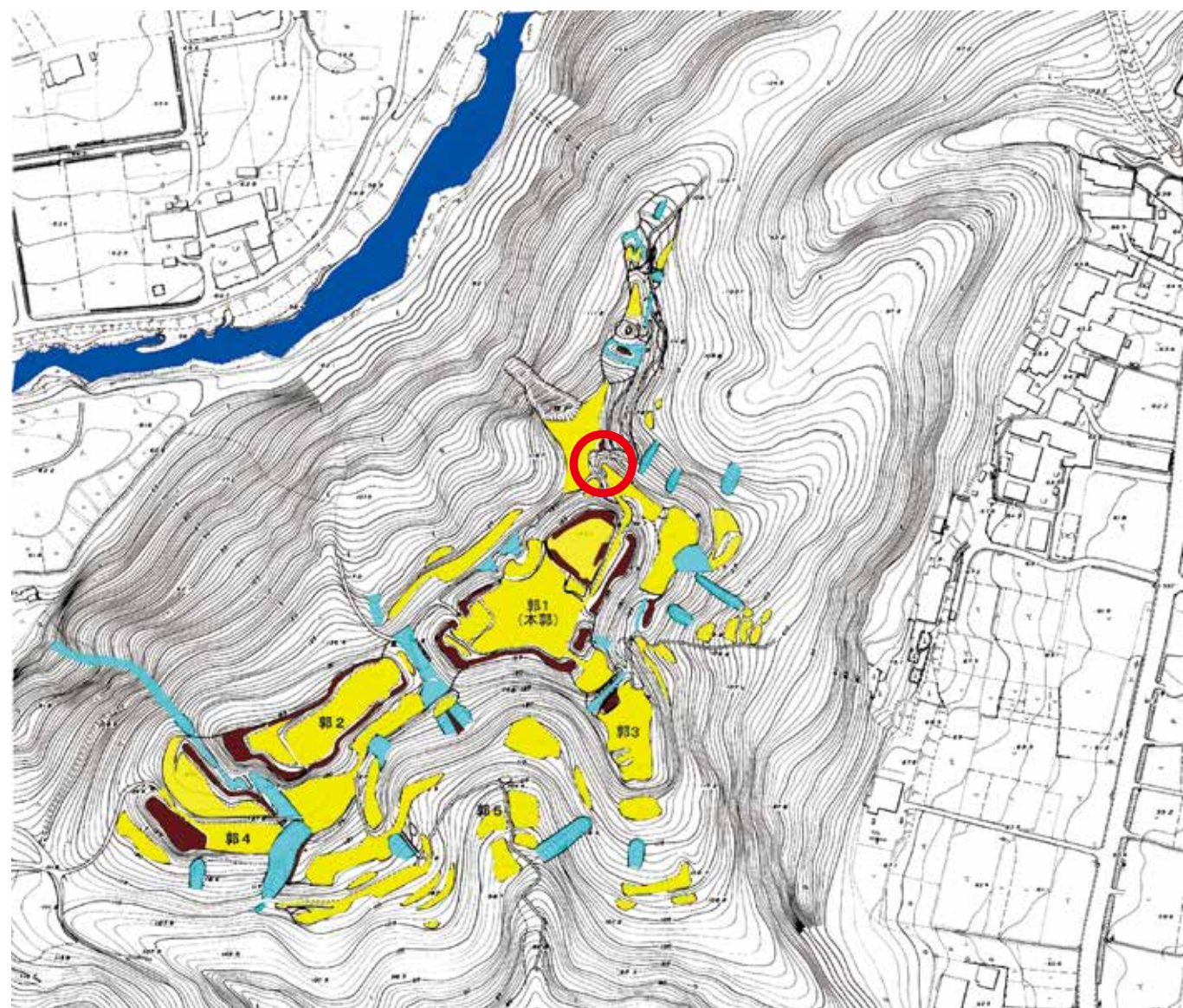


枡形虎口

(ますがたこぐち)

虎口内側の岩盤を直角に掘削して内枡形に通路を規制しています。ここは本郭北虎口をスロープで下った先の重要な場所で、虎口両袖には、石材が確認でき石積みを伴う堅牢な造りとなります。同じ構造をもつ郭1北虎口の成果から虎口正面には門の設置が想定されます。定型化した近世城郭の枡形虎口には一ノ門、二ノ門が置かれます。ここは規模も小さく未調査のため二ノ門が置かれたかは不明ですが、戦国期の虎口の姿を良く伝える貴重な遺構となります。

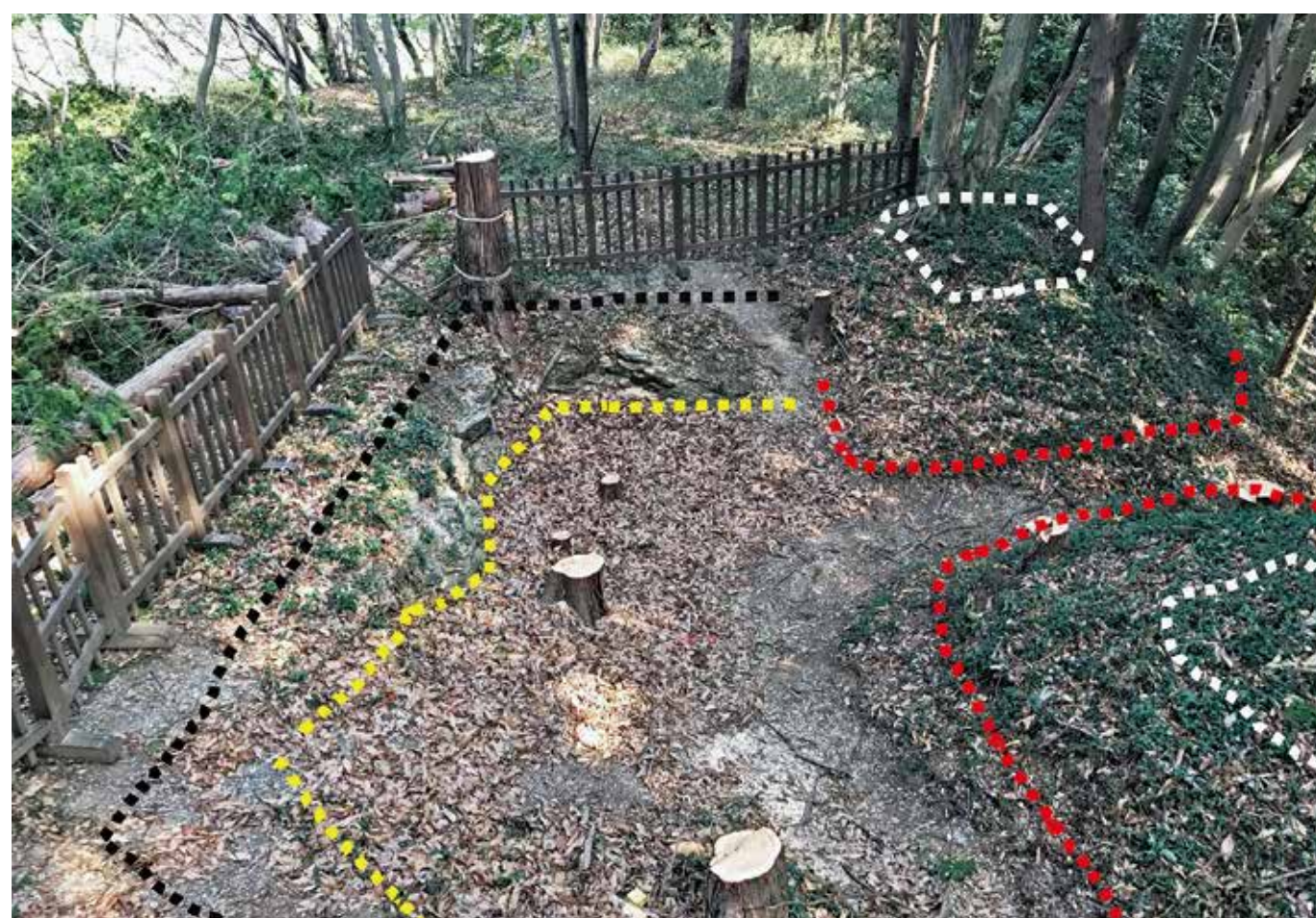


▲ 赤丸部 枡形虎口位置

(ときがわ町教育委員会)



▲ 枡形虎口内側（南から）



▲ 赤点線—推定門跡袖部下端 白点線—袖部上端
▲ 黄色点線—枡形岩盤掘削下端 黒点線—枡形岩盤掘削上端



▲ 枡形虎口外側正面（東から）



▲ 枡形虎口内側（西から）